



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年1月31日

上場会社名 東海染工株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 3577 URL <http://www.tokai-senko.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 八代 芳明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 津坂 明男 TEL 052-856-8141
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	10,236	△3.6	94	△53.9	152	34.5	△143	—
24年3月期第3四半期	10,623	△2.8	205	—	113	—	85	△83.6

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 51百万円 (513.4%) 24年3月期第3四半期 8百万円 (△98.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△4.16	—
24年3月期第3四半期	2.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	13,389	4,739	33.8
24年3月期	13,740	4,798	33.4

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 4,528百万円 24年3月期 4,592百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成25年3月期の期末の配当予想につきましては、現時点では未定であります。

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,200	△2.2	350	△10.8	380	36.5	30	△86.9	0.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、(添付資料) 4 ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	36,142,529株	24年3月期	36,142,529株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	1,702,372株	24年3月期	1,510,098株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	34,555,653株	24年3月期3Q	34,633,402株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料) 3 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかながらも東日本大震災からの復興需要に支えられておりましたが、長引く円高や欧州・新興国等の海外経済の減速を背景に輸出が減少したことなどにより景気の後退が続いております。その一方で、12月の政権交代を契機に新たな経済政策や更なる金融緩和への期待から円高に一般感が見られ株価が上昇傾向に転じるなど明るい兆しもみられましたが、個人消費の低迷や厳しい雇用情勢は続いており、景気の先行きは不透明なまま推移しております。

染色加工業界におきましては、国内では、ユニフォーム関連の受注が昨年までの活況からの反動もあり低迷していることに加え、円高や生産技術レベルの向上を背景に海外への繊維生産シフトが一段と進むなど、厳しい環境が続いております。その一方、当社が生産拠点を持つ東南アジアにおきましては、著しい経済成長や人口増加、生活水準の向上を背景に需要が活発化しております。

このような状況の中、当社グループでは、収益力の更なる向上を目指し、グループ全体で様々な課題に取り組みました。主力の染色加工事業におきましては、国内では、高付加価値加工商品の拡販や定番商品の受注取り込みに加え、織物無地染分野の再構築を目的に生産拠点の集約化を図るなど、生産効率の更なる改善を進めました。また海外では、拡大する需要を取り込み、より一層の事業拡大を図ることを目的に、現地における製造インフラやサプライチェーンの整備と強化によって、内地受注と日本向け客先の拡大に努めており、とりわけインドネシア子会社におきましては大型設備投資による生産能力の大幅な引き上げに着手しております。縫製品販売事業におきましてもインドネシア一貫生産体制を活用した日本向け販売の拡大に努め、非繊維事業では社会的なニーズの高まりを背景に保育サービス事業の更なる拡大に取り組みしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,236百万円（前年同期比3.6%減、386百万円減）と主力の国内染色加工事業の受注低迷の影響により減収となりましたが、好調な海外事業、縫製品販売事業、保育サービス事業は前年同期に比べ順調に売上を伸ばしております。

利益面におきましては、売上を拡大した海外子会社が大幅な増益となりましたが、国内染色加工事業の減収により、営業利益は94百万円（前年同期比53.9%減、110百万円減）と減益となりました。

一方、経常利益は152百万円（前年同期比34.5%増、39百万円増）と増益となりました。これは、海外子会社の増益効果や会計基準変更時差異の費用処理完了に伴う退職給付費用の減少などによるものです。

なお、第1四半期会計期間に米国子会社の解散に伴う事業整理損168百万円、当第3四半期会計期間に国内における織物無地染事業の事業再構築費用30百万円を特別損失として計上した結果、法人税等を控除した四半期純損失は143百万円（前年同期は四半期純利益85百万円）となっております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①染色加工事業

染色加工事業の売上高は8,120百万円（前年同期比8.0%減、702百万円減）と減収となり、営業利益3百万円（前年同期比96.2%減、79百万円減）となりました。

染色加工事業における部門別（加工料部門、テキスタイル販売部門）の業績は次のとおりであります。

（加工料部門）

加工料部門は、国内におきまして、無地染加工では、織物加工分野で、顧客との取り組み強化を積極的に進めるなど、定番品加工商品の取り込みに注力しましたが、ユニフォームや婦人衣料向けの需要落ち込みの影響を受け売上は大きく低迷しました。その一方、編物加工分野では、付加価値加工商品の開発と拡販に取り組んだ結果、高機能を付加した特殊加工商品の受注が順調に推移するなど、新開発商品が好調に売上を伸ばし、同分野の売上増加に寄与しました。

プリント加工では、織物無地染分野における受注の落ち込みをカバーすべく当期から本格稼働を開始した量産型デジタルプリントの受注拡大に積極的に取り組むなど受注確保に努めましたが、編物加工分野の受注が新規顧客の増加などにより比較的好調に推移した一方で、織物加工分野では無地染加工と同様に海外への生産移転の加速などを背景に受注が低迷しました。

これらの結果、国内加工料部門の売上高は、編物加工分野が堅調に推移しましたが、無地織物加工における受注不振の影響により全体では減収となっております。

海外におきましては、インドネシア子会社では、潤沢な受注を背景に生産数量を順調に伸ばし増収となっております。これは旺盛な需要を背景とした内地受注の拡大に加え、日本からの技術支援による品質向上や販売ルートの構築・確保を進めたことで、駅ビルやファッションモール向けを中心とした日本向け加工も拡大したことによるものです。

またタイ子会社におきましても増収となりました。これはインドネシア子会社と同様に内地向け受注の増大に加え、現地紡績・織布会社の生地活用した新たな素材・加工開発や、日系商社との連携を一段と深めた成果により、日本向け加工が百貨店向けの婦人服分野を中心に大幅に拡大したことによるものです。

以上の結果、加工料部門の売上高は6,518百万円（前年同期比9.8%減、707百万円減）となり、海外子会社2社は増収となりましたが、加工料部門の全体では減収となりました。

（テキスタイル販売部門）

テキスタイル販売部門は、インドネシア子会社におきまして、欧州向けの販売が好調に推移するなど輸出売上は伸びましたが、日本国内では、衣料品販売低迷やユニフォーム関連受注の落ち込みの影響を受け減収となりました。この結果、テキスタイル販売部門の売上高は1,601百万円（前年同期比0.3%増、4百万円増）と前年同期と比べ微増となっております。

②縫製品販売事業

縫製品販売事業は、インドネシア一貫生産体制を活用した商品の拡販を進め、インナー中心から新たに婦人アウター分野への展開や多店舗展開している小売店への直接販売を進めるなど、順調に売上を伸ばした結果、同事業の売上高は1,148百万円（前年同期比26.2%増、238百万円増）と増収となり、利益面でも、営業利益9百万円（前年同期は営業損失4百万円）となり黒字化しております。

③保育サービス事業

保育サービス事業は、病院を中心とした事業所内託児所の新規開設効果や保育園の児童数の増加などにより順調に売上を伸ばし、売上高1,084百万円（前年同期比12.1%増、117百万円増）と増収となりました。しかしながら、より一層の事業拡大を目的に人員確保を進めている段階にあり、コスト面で人件費や採用費が先行費用として増加した結果、営業利益33百万円（前年同期比11.4%減、4百万円減）となりました。

④倉庫事業

倉庫事業は、国内染色加工事業の商量減少の影響を受け、荷受取扱数量が伸び悩んだ結果、売上高は217百万円（前年同期比0.2%減、0百万円減）とほぼ横ばいとなり、営業利益9百万円（前年同期比21.2%減、2百万円減）となりました。

⑤その他事業

当セグメントには、機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業が含まれており、売上高は118百万円（前年同期比26.9%減、43百万円減）、営業利益は39百万円（前年同期比45.7%減、32百万円減）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、13,389百万円（前連結会計年度末比2.6%減、350百万円減）となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少641百万円、商品及び製品の増加70百万円、その他流動資産の増加111百万円、投資有価証券の増加60百万円等によるものです。

負債は、8,650百万円（前連結会計年度末比3.3%減、291百万円減）となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少414百万円、その他流動負債の減少143百万円、退職給付引当金の減少199百万円、長期借入金の増加459百万円等によるものです。

純資産は、4,739百万円（前連結会計年度末比1.2%減 58百万円減）となりました。これは主に四半期純損失の計上143百万円、配当金支払による減少69百万円、投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の減少16百万円、為替換算調整勘定の増加188百万円等によるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、通期連結業績予想につきましては、当第3四半期決算を踏まえ検討した結果、平成24年11月8日公表時の業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計上の見積りの変更

(退職給付引当金の数理計算上の差異の処理年数の変更)

従来、当社の数理計算上の差異の費用処理年数は10年としておりましたが、従業員の平均残存勤務期間が短縮したため、第1四半期連結会計期間より費用処理年数を9年に変更しております。

この変更に伴い、当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純損失は28,726千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,714,773	1,741,625
受取手形及び売掛金	3,798,912	3,157,493
商品及び製品	265,458	336,176
仕掛品	384,914	422,881
原材料及び貯蔵品	343,250	341,670
繰延税金資産	32,675	26,881
その他	155,764	267,280
貸倒引当金	△8,475	△8,944
流動資産合計	6,687,273	6,285,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,367,333	1,380,247
機械装置及び運搬具(純額)	1,813,109	1,862,536
土地	1,816,076	1,807,437
建設仮勘定	160,519	108,305
その他(純額)	47,193	65,227
有形固定資産合計	5,204,233	5,223,754
無形固定資産		
のれん	691	395
その他	36,977	34,658
無形固定資産合計	37,669	35,053
投資その他の資産		
投資有価証券	1,550,215	1,610,838
繰延税金資産	10,423	18,317
その他	259,137	229,240
貸倒引当金	△8,774	△12,638
投資その他の資産合計	1,811,001	1,845,759
固定資産合計	7,052,904	7,104,567
資産合計	13,740,177	13,389,632

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,293,635	1,879,003
短期借入金	2,107,254	2,004,488
未払法人税等	32,062	23,397
賞与引当金	29,680	31,224
その他	1,231,620	1,087,970
流動負債合計	5,694,252	5,026,084
固定負債		
社債	90,000	60,000
長期借入金	721,500	1,181,350
退職給付引当金	1,937,072	1,737,780
役員退職慰労引当金	269,207	271,969
環境対策引当金	17,950	—
資産除去債務	36,135	37,340
負ののれん	6,474	1,618
その他	169,122	333,960
固定負債合計	3,247,462	3,624,019
負債合計	8,941,715	8,650,103
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,300,000	4,300,000
資本剰余金	1,400,248	1,400,151
利益剰余金	305,733	85,403
自己株式	△335,670	△350,965
株主資本合計	5,670,312	5,434,588
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68,531	51,936
為替換算調整勘定	△1,146,784	△958,473
その他の包括利益累計額合計	△1,078,253	△906,536
少数株主持分	206,403	211,476
純資産合計	4,798,462	4,739,528
負債純資産合計	13,740,177	13,389,632

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	10,623,565	10,236,913
売上原価	9,114,171	8,915,440
売上総利益	1,509,393	1,321,472
販売費及び一般管理費	1,303,665	1,226,671
営業利益	205,727	94,801
営業外収益		
受取利息	265	1,009
受取配当金	37,677	44,333
負ののれん償却額	4,856	4,856
還付消費税等	—	36,241
雑収入	43,643	41,112
営業外収益合計	86,442	127,552
営業外費用		
支払利息	34,141	25,377
退職給付費用	93,832	—
為替差損	24,553	12,155
雑支出	26,291	32,350
営業外費用合計	178,819	69,883
経常利益	113,351	152,470
特別利益		
移転補償金	—	20,360
特別利益合計	—	20,360
特別損失		
事業再構築費用	—	30,385
事業整理損	—	168,050
投資有価証券評価損	3,251	—
その他	—	18,329
特別損失合計	3,251	216,765
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	110,099	△43,935
法人税、住民税及び事業税	32,600	48,058
法人税等調整額	△33,422	18,502
法人税等合計	△821	66,561
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	110,920	△110,496
少数株主利益	25,362	33,345
四半期純利益又は四半期純損失(△)	85,558	△143,841

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	110,920	△110,496
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△74,016	△16,595
為替換算調整勘定	△28,474	178,804
その他の包括利益合計	△102,490	162,209
四半期包括利益	8,430	51,713
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△23,212	28,121
少数株主に係る四半期包括利益	31,642	23,591

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	8,752,442	789,545	967,265	27,583	10,536,837	86,727	10,623,565	—	10,623,565
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	70,179	120,920	—	190,043	381,143	75,827	456,971	△456,971	—
計	8,822,622	910,466	967,265	217,627	10,917,981	162,555	11,080,536	△456,971	10,623,565
セグメント利益又は 損失(△)	82,891	△4,741	37,960	11,708	127,818	72,130	199,948	5,779	205,727

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額5,779千円には、セグメント間取引消去6,075千円、のれんの償却額△296千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	8,117,473	939,053	1,084,268	2,997	10,143,793	93,120	10,236,913	—	10,236,913
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,646	209,809	—	214,131	426,587	25,766	452,354	△452,354	—
計	8,120,120	1,148,862	1,084,268	217,128	10,570,381	118,886	10,689,267	△452,354	10,236,913
セグメント利益	3,153	9,450	33,636	9,230	55,471	39,180	94,651	150	94,801

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額150千円には、セグメント間取引消去446千円、のれんの償却額△296千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。